



幸せなM&A

会社を上手く売る。買う。

スマールM&Aに关心を持つ経営者さんが増えているそうです。そろそろリタイアするために会社を売却したい経営者さんがいる一方で、開業や事業拡張にあたって、すでにある会社を譲渡してほしい経営者さんもいます。いずれの立場でもM&Aを成功させたい思いは同じ。何がポイントになるのか、専門家である会員様に聞いてみました。

日本M&Aアドバイザー協会は、承継する側／される側の双方が友好的に成約する環境の整備をミッションとして、認定M&Aアドバイザーの育成に取組まれています。まさに売る／買う双方の立場に精通なさっている大原達朗代表理事に、企業がM&Aを成功させるために大切なことは何か、お尋ねしました。

なぜM&Aは 成り立つのか

――ここ数年でM&Aの成約件数は増えているのでしょうか。

初めから買収を前提に交渉する
つていうのがナンセンスなんです。

件やらなきやいけない。これだけ高齢化が進んでいるわけですから、実際は年間 1%のはずないですよ。だとすると成約が年間 4000 件程度では全然話にならない少なさだと思います。

——なにが障壁になつてるのでしょうか。

大原 一般的には手数料の問題がいちばん大きいと言われています。が、私はもつと根深い論点があると思います。

第三者が評価することはできませんし、引継ぎも難しい。「取引先との関係、売上の数値など、すべて私の頭の中に入ります」という経営者は危ないのです。

「人に売れる会社か」とは、そういう意味もあります。

売却側に対しては、そもそも人に売れる会社ですか、いくら稼げる会社ですかということがひとつ。もうひとつは第三者が引継いだと経営できますか、というこの2点です。この2つが囁み合っていないと第三者には譲渡できませんが、最初から揃っている会社はそうそうありません。

こういう会社は「売れません」。

大原 稼ぐ力については、もちろんボテンシャルのある中小企業はあります。そういう会社の社長によく言わわれるのは「ちゃんと経営すれば利益は出ます」。じゃあ、あなたはなんでちゃんと経営してないのって説教したくなりますがよね(笑)。

また、ちゃんと経営をしているのは当然としても、経営管理ができていないと人は伝えられないです。財務等の数字の関係、契約の関係、規定の関係などの記録がとらえていなければ、

会社を買おうとするから失敗する

——では、買収する側にとつての論点はなんでしょう。

するんだという論点で考えていただい
て、スタートは「一緒にこの仕事をやり
ませんか」ということでいいと思うんで
す。

業者や担当者には
任せんな。

――事業活動のなかから始まるほうがうまくいくと。

大原　特に経営者の関与が薄いとM & Aは失敗します。企業買収の経験がない会社だと、仲介業者を入れたり、比較的大きい会社であれば経験者を外から採用したりしますが、この人たちにとつてはどこにかく買収することが仕事になつてしまふ。だからM & Aは社長自身が根本的なジャッジをやらないと、ちゃんとできるわけがないのです。

——経営者は経営の仕事に特化する必要があるということですね。とは言え、変えていくのは難しそうですよね。

生き残

生き残



一般財団法人 日本M&Aアドバイザー協会
代表理事

公認会計士、JMAA認定M&Aアドバイザー
1998年 青山監査法人プライスウォーターハウス入所
2004年 大原公認会計士事務所開設
2009年 アルテパートナーズ株式会社設立 代表取締役(現任)
2010年 アルテ監査法人設立 代表社員(現任)
2014年 日本M&Aアドバイザー協会 代表理事(現任)
2020年 ビジネス・ブレークスルー大学 教授(現任)

大原 検査も経営も問題を先送りにしないことです。60代くらいの方って右肩上がりでずつと成長してきた経験があるので、そういうときって問題を先送りにしておくどこかで解決できたんですよ。多少数字をこまかしていたとしても2年ぐらいすると景気が回復して、売上がガ

——経営管理が苦手な人もいると思いま
すが……。

でも今は先送りすればするほどきつくなるんです。考え方をチエンジしていかないといと。だから早めに、いつたん実態をつまびらかにしようと。つまりかにしてどこか悪いところがあつたって、いきなり会社をやめる必要はないのですから。

著　書

「サラリーマンが小さな会社の買収に挑んだ8カ月間」
(中央経済社)

王) <ホームページ> <https://www.jma-a.org/>
<https://ma-japan.info/>

<YouTubeチャンネル> 「大原達朗」で検索

著　書
「サラリーマンが小さな会社の買収に挑んだ8ヶ月間」
(中央経済社)

<ホームページ> <https://www.jma-a.org/>
<https://ma-japan.info/>

<YouTubeチャンネル>「大原達朗」で検索